

心に充り込んでゆく。品物がよくて安くして、じやんじやん充り込むので「アニマル」などと悪口を云つたりするが、彼らは到底日本人には太刀打ち出来ないのである。EC側の企業では、対日本輸出品ででも業者まかせだから、競争にならないのである。

自由貿易だから、このままで日本の企業に押されてしまう。との把柄から、アメリカに泣きついたり、政治問題にからまけたりして、日本の対EC輸出を制限してもらいたいと云い出したのである。

○アメリカ大統領ニクソン時代(初期)であつたと思ふが、日本の織物が圧倒的にアメリカの業者を打ちのめしたので、大統領は自国の産業を保護するため、日本品の輸入を禁じたことがあり、日本の織物業界は退縮、閉鎖、転業を余儀なくされたことがあつた。日本では安保條約が邪魔になつて、アメリカの業者の云いなりでもないか、貿易問題では譲歩の止みかたし結果となつたこともある。ECと日本とは政治問題でやり合うこともない筈であるが、正面の話しあい、中止り、経済基盤その他の各企業の自肅にまつと去るところを一応解決するのであるまいか。

○ヨーロッパ人の氣の長いというか、非能率というか、こんな内訳がある。ブリュッセル(ベルギー)のある日本商社が電話局から、十二月十六日から電話番号が変るからと通告を受けたので、日本の本店や各取引先へ挨拶状を出した。

すると、十二月十五日になって局から、仕事の遅延で何日になろか判らぬという知らせがあり、突然工具、セーフトを註文したら、二ヶ月後に届いた。又或る人が自動車を買おうとしたう、三ヶ月待つてくれと云われて驚いた。万事此の調子で、何ともけや氣の抜けた話である。

造船界でも日本と競争にからないことは判つてしまふが、こんな内訳がある。日本商社が電話局から、もし壊滅してしまえば、軍艦を造ることも出来ぬという軍事的不安があり、失業問題もあるので、国際競争力はなくとも、何となく抱きかかえていかねばならぬ現状であるといふ。

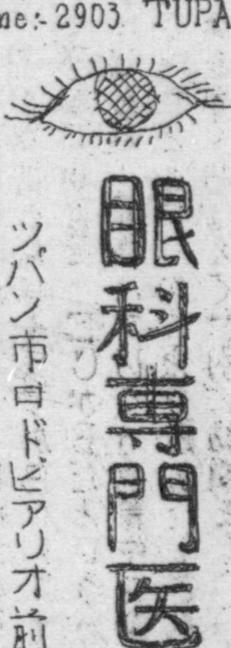
○安くてもよい船を輸入するのが何故悪いか、というと、強盗に襲われた。所持金をとられ、着物を剥がれ、その上刃物で傷を負わされ、半死半生の姿となつて山道に倒れこした。しばらくすると、一人の祭司(バードレ)がそこを通りかかったが、倒れている男の姿を見ると、かかり合ひにでもなると事面

狸の説法 13

あなたのは誰

系音

○あるイスラエル人小所用のため首都エルサレムかうエリコという町に行く途中寂しい所を通りかかるとき強盗に襲われた。所持金をとられ、着物を剥がれ、その上刃物で傷を負わされ、半死半生の姿となつて山道に倒れこした。しばらくすると、一人の祭司(バードレ)がそこを通りかかったが、倒れている男の姿を見ると、かかり合ひにでもなると事面



ツバン市ロドビアリオ前に
診療所を開けましたので
バストス出張が不可能になり
ました。

つきましては誠に恐縮ですが治療
中のの方、診察御希望の方、又は
眼鏡の度数測定希望の方はツバン市
まで御いで下さいますようお願い
申上げます。

診療時間は、日曜と祭日以外は毎日
午前八時から六時まで
午后三時から六時まで

尚INPSも受け致します
ツバン市・ルアカリジョス二七八番地
ロトビアリオ前
電話二九〇三番

INSTITUTO DE OFTALMOLOGIA DE TUPA

Clinica e Cirurgia de Olhos

Rua Carijós nº 278
Fone: 2903. TUPA

Dr. José Umino Negrao
Dr. Luiz Carlos Alves

Dr. 海野 動

Dr. ルイス・カルロス・アレハンドロ

例なりと思つてか、見ぬふりをして通りぬけてしまつた。

数時間後また一人の學者風の人が、「そ」と通りかかつたが、例れた男を助けようともせず、気のつかぬ風体で行つてしまつた。

すると暫くの後、一人のサマリア人が驢馬(ロバ)を曳いて通りかかり、例れているイスラエル人を見てあわれに思い、傍に寄つて見ると大変傷を受けているので、自分の荷物の中から葡萄酒と油を取り出して傷を洗らい、パンノを裂いて傷口をつつみ、驢馬にして送つれていった。

その邑の宿屋の一室を借り親切に一夜介抱をしてやつた。翌日、いくらかの金を宿屋の主人に渡し、帰途再び立ち寄るから二、三日養生してやつてくれ。金の不足分はその時支払うからと云つて、そのサマリア人は旅をつづけて行つた。

○この話は新約聖書ルカ伝の第十章にのつてゐる記述を要約したものだか、イエスが伝道中、一人のユダヤ教の教法師(教を説く人)から質問を受けた。「己れを愛する如く汝の隣人を愛せよ」と律法にあるが、隣りとは何であるか」という質問に対しても前述のように、サマリア人の話ををして

「隣のために害を受けた男にとつて、三人の中、誰が隣人であるのか」と言つた。質問した教法師は「そりや勿論、そのサマリア人ですよ」と答えた。「そりや勿論、そのサマリア人ですよ」と答えた。○当時、イスラエル人とサマリア人は仲が悪く、けんかはしても、親切にするようなことは無かつたといわれるが、イエスの博愛主義は人種を超えていたので、まさサマリア人の例を引いて、同民族でも

倒れた男を避けて通った祭司やレビ人は隣人とは云いかたい。真に慈悲心を敵にまで持つ人はサマリア人であろうとも、眞の隣人である。と教えたものであろう。

○一寸堅苦しいが、律法にある言葉は「汝心をつくし、精神をつくし、力をつくし、思いをつくして汝の神を愛すべし。又己の如く汝の隣を愛すべし」とあるが、信仰には全身全力をつくさねばならぬ。自分を愛するように隣人にも愛を及ぼさねばならぬ。その隣人も愛せよといふ最後の部分の説明である。裡の説法だから牧師さんのようなわけにはいがぬ。

何しろ木の葉を紙幣の如く使い、おまけに釣ヘトロッコ)を取ろうと言うのだからすさまじい。が、まあ、かまんをしていただきたい。

糸音

海の魅力

梶山双樹

5

寄稿

人口一千余万を誇る大東京都と雖も高層建築の林立する海岸通りはリオ市と共にブラジルの表玄関を自負するサンクトスの市街の美しさにはとても及ばないのではないか。

いや、そればかりではない。サンクトスの海は東京湾には比らぶべくもないほどの美しさだということだ。海は者から何処へ行っても青く美しく感するのか吾々の通常だ。青い海原とか、紺碧の海とか言われて昔から詩的に表現されているのだ。尙か其の時の東京湾は最もとうに赤茶氣た海水がどんより濁つて桟に死海で、これでも海かと、暫し茫然として言葉もない程だった。

日本の高度成長の犠牲となつた東京湾には無数のクラゲが唯力なく浮遊しているだけだ。魚類も既に只の一尾残らなくなつてゐたのである。これを死海と云わないで外に言葉があるだろうか。汚染には強いと云われるクラゲでさえも、僅か二、三種類が生き残ったのみで、六十種類もあると高われ乍ら、大部分が死滅したのである。心なしか自衛隊が歓迎してくれるのであれば、心なしかですら何か空しいものに聞こえた。

私は矢も櫛もたまらず隊員の一人に質問してみた。巡が彼はいとも簡単に「心配ありませんよ。本年の六月から(一九七四年)東京都を挙げて海水の淨化にかかります。間もなく苦悽しい魚の横めろ綺麗な碧い海が必ず見られる様になりますよ。どうぞブラシルの皆さん御心配なさらなさい下さい」と、日本的高度科學を信ずる力強い水兵さんの言葉であった。

サンクトスの海が最近、海水の汚染が云々されているが、見た目には透明な青く澄んだ誠に綺麗な海水である。希らくばサンクトスの海は、此の青く澄んだ綺麗な海のイメージを何時までも、「わざわざして欲しいものである。

アベニーブ、ウイルソンを車で走つても、船の上から眺めても、プライア、コンザーカ、ブライア、ショゼーメニーと称していふらしい海水浴場は少く

とも四五キロ位はあるのではなかろうか。

サンビセントとクルジヤ半島に囲まれた此の海水浴場は砂浜も大変広く、波は静かで、嵐も遠浅で、リオのコッカバーナの深い海とはとても比べものにならない。其の上サンクトス港の港口とあって、外国人

船も次から次へと入港して來るのである。明日は私達も此のフライヤ、ゴンザーカで一日遊ぶ事とした。ルイサさんも私の娘も余り乗気でない様だ。やはり海水の汚染が気にかかるのだろう。私達も今日はホテルから其のままフライヤへ裸で直行だ。

○ 羞しし裸でホテルより海へ

アベニーブを越えればすぐフライヤだ。たゞも妻は此の毎日、また何うとしない。

つづく

法話お知らせ

日時 来る六月二十六日(日)午後二時

場所 バストス・綜合会館
講師 ツバン・西本願寺

寺井開教師

バストス明老会では「時にはお寺さんの御法話もよかる」(と存じ、前記のよう

にツバン・西本願寺に新任の寺井先生にお願いして法要とご法話の会をいたします。御近所お誘い合つて、どなたもおいで下さいますよう御案内申上げます。

バストス明老会

マツサジヌタ

皆様の御希望で六月にも
御出張をちうがい致しました

奥田 稔 先生

六月も来植!

六月二十日・二十一日・二十二日・二十三日間

バストスで施療下さることに

ました。

来六月も僅か三日間ですから、慢性の痛みのある方はこの機会に是非先生の治療をおすすめ致します。

特に慢性の腰・肩・脚・頭の痛み不眠症の方は特効です

治療前は同じく
バストスロード・アリオ前

ホテルララミ

仲尾權四郎氏の巻

著者 岸 本 丘 陽

牛糞のたまつた貨車の寝室、枕木運びの仕事、「一休何處に青い鳥の棲む幸福の國があるのだろう。」国を出る時の張羅を脱いで行李の底に藏いかけ、いろと不覚にも涙がボロリ一疋服の上に落した。ドン底の生活に立たされた時、人間過去の追憶を懐かしみ、再びどの時代の楽しさを求めて去就に迷うものである。

仲尾青年も又ブエノス、アイレスの得意の時代を想い、パラグアイの第二軍団長の恩情が偲ばれ、自ら求め来た現存の生活の荒寥さに途方に暮れなが、労働者に看替えいると、胸の中に一つの声が聽えて来る。それは我が肉なる声である。「人生は戦いである。一度駆み出したら断じて後へ退いてはならぬ。理性の門は信じて望みを失なわない所にあるのだ。いいか、信じて望みを失なわないことが大切なのだよ。千里無人の荒野、人殺しの喧嘩、牛糞のたまつた貨車の寝室、斯うした世界を涙と共に乗り越えて行つた者だけに栄光の世界は与えられるのだ。人間の勝利は最悪の條件の中に歓されであるのだ。どんなことかあつても逃げ出すな、望を持つて耐えて行け!」

仲尾青年はドンと胸を打つて「黎明は暗黒の彼方にあるのだ」と叫びながら枕木運びに出かけて行つた。鉄道工夫の仲間に入つて驚いたことは、一人の一人二人殺した後様持ちか、普通の社会では皆にも拘りもからぬ放蕩不類の徒が多く、日の目を見られる奴らではなく、官憲の手の届かる此の「安全地帯」飛び込んでいる者が多かった。

仲尾は何所の世界に入つても「至誠一貫」で通し、人目をカスめて胡魔化することや、表面を繕らう「要領」をせず、何時も骨の折れる最悪のは事をやり通して來た為め、上役からも信用され、一にも仲尾二にも仲尾だつた。工夫仲間にからも尊敬されていた。彼の世界は飽くまでも実力が物と云うのだ。仕事が出来て、腕、筋が強くて喧嘩に負けない者が英雄なのだ。しくは事ばかり出来てもお人好しひは彼らに利用され馬鹿にされ、脅迫されて馬鹿のタグ付きに終つてしまふのだ。

仲尾の仕事の正確さ、能率の増進、骨身惜します。幼く精勤は断然幾百の工夫の中に群を抜いていた。彼は鉄砲を買つて来て、日雇になると沼沢や原野を駆走をしてまはせていたが、或日鹿を一匹生け捕つて来こ皆に振舞う前に実力を示して見せることにした。先ず板に人間の体を墨で描き、心臓の所を特に黒々マルカして百メートルの距離に其の板を立てて仲尾がやつたら四発は美事心臓に、一発は咽喉部に的中しているのを見て、彼等は顔見合わせて仲尾の手腕に舌を卷いて恐れをなした。

次は腕力の実力を見せてやることにした。仲尾は鹿の耳の下のこりかみの軟かい急所に向つて沖縄の唐手術の要領で「エイツ」と裂帛の気合で一撃を浴びせかけると、鹿はコロリと前脚を折つて倒れてしまつた。荒くれ男共は「仲尾は拳骨で人間を殺す術を知つとる」と云つて、仲尾には一目も二目も描いて懼れをなし、「仲尾には手出しか出来ねえ」と云つて畏敬した。

此の様にして彼は荒くれ男共と喧嘩をせず、彼らを心服させて手なつけた。一年後、工夫監督に昇進し、十八人の親分になつた。ボルト、エスペランサからミランダ駅迄の鉄道敷設工事に従事し、十キロの距離が担任区域だつた。

監督は懲手をしたから煙草をふかして部下をあごで使うのかならわしがあるか、仲尾監督は骨の折れる一番困難な場所になると、真先に立つて自身もやるので、勢い部下は彼に従わざるを得なかつた。仕事が予定より早く片付いた時には、彼は瓶詰を持つて鹿を擣ち、ガルサを獲つてフェスターをし、ビン割り当てられても予定より早く片付いてゆくので、

Organização Social de Luto ARegional

Rua Adhemar de Barros n.º 295 Fone 361 Bastos E.S.P.
Residencia no local, faça Bastos crescer prestigioso seu
comercio sobre direção de aparecido feriano
ribeiro EX Funcionário da funeralaria São Pedro,
artigos funeralaria prestação serviço. Flores. Coroas.
Velas. Hossenko, Hihai, e artigos para UM BANDO em
geral. Atendimento pelo INPS e FUNRURAL. atende-se dia e noite

葬具店 フネラリア サンペードロ

後藤さんのガソリンポストの向い側で開業しております。高級棺の外花、花輪ローソク、線香、位牌、クリース等、一般の葬具店の備品以外に仏式に依る必需品も揃って居ります。昼夜受付にて居ります故お電話で御用命下されば直ぐお届け致します。

バストス市
アデマル デ バーロス街 二九五番地
電話 三六一一番

蒼

石川達三氏著

死亡通知並びに会葬御禮

船のベッドは決して神戸の後兵収容所よりも寝心地のいいベッドではなかった。

「もうなんぼか来たべな」とお夏が言つた。やはり眠れないといたのだ。日本よさらば! 神戸はどのくらい離れたろうか。送別の歌を無心に歌つてくれた小学生たちの姿が眼にうかぶ。縁もゆかりもない子供達があんなにして送つてくれたことに、外国へ去つてもう帰らない人々の悲しみがある。世界のひろさが思われてならない。

「ンだな、五、六十里も來たべか」

弟の若い心では、姉の言葉のなかにかくされている哀愁の色を、見抜くこともできなかつた。彼は船出の時に姉に泣かれてから、急にお夏という生存が負担に思われはじめた。それまではともかくも孫市の要求を素直にとおしてくれたし、どんな無理もきいてくれる姉であつた。彼は姉思いの弟でありながら、実は姉の寛容さに甘えていろ弟であつた。勝治の嫁の名儀をこしらえて彼を入籍したこと、ブラジルへ行くと言う話も、堀川さんを思い詠めたこと、姉は一切弟のために譲歩していきたのであつた。弟は自分の代價に気がついていた。しかし神戸で泣かれたときはじめて、お夏がどれほどの思いで日本を出て来たかを知らねばならなかつた。弟は憤り道を負債を姉に負うことを覚り、償ふの方法にも窮し、姉を負担に思はずじめた。すると素直な気持で今まで道理の代價が言えなくなつてしまつた。むしろ姉から言われる何でもない言葉さえも、今では責められていろような気がしてならなかつた。

「外国だ。二十日につくと」

お夏は毛布をひとつに襟に巻きつけ、狭いベッドの中に小さく足をちぢめて、身のまわりを收き過ぎる寒い風を感じた。今度つく港が外国の港であるうとなからうと、彼女にとつてはいわば何の楽しみがあるわけでもなかつた。彼女ばかりではなく、この船の全部の移民たちにとって、航海の四十五日はほとんど生涯のプランが真であつた。彼らの目的はブラジルの耕地であり、そこへ着くまでの船中生活は無意味なものにすぎなかつた。ただ丈夫で向へ着きさえすればよい。退屈な期間であつた。波の音と猫解いとの浅いきれぎれな眼も、眠つてしる間にいくつかでも目的地にちがづくと馬鹿ば、希望をもつことも出きた。

壁の朝、起きあかるとすぐに彼らは、寝苦しいべつとにこわばつた肩や胸をのばしながら言うのであ

夫、松藤喜義六十二歳儀暫く病氣静養中の廻葉石効なく去る五月十八日午前二時長逝致しました。依つて同日午後五時半自宅出棺バストス墓地へ埋葬いたしました。此の養生前御交誼を頂ました皆様へ謹んでお知らせ申上げます。

尚葬儀に際しましては遠路懇意御多忙中の巡回会葬下され、其の上過分なる御香料並びに花輪等を頂き誠に有難く厚く御礼申上げます。実は一々御廻礼込み申にて其の意を得ず、失礼乍ら略儀紙上を以て御礼申上げます。

一九七七年五月十九日

喪主妻 松 藤 末

長男 リ

次女 ク

千

長女 森 元 美 喜

夫 ク

菊

親戚代表 森 元 武

子

秋 鶴 代 雄

ブラタク製糸事務所職員一同様

ブラタク製糸株式会社様

バストス中央票 四 区様

バストス南米本願寺様

バストス仏教婦人会様

会葬者御

一

同様

朝食のチーブルはほとんど半数もいないくらいまばらであった。馴れない生活がすっかり彼らの食欲をなくしてしまった。

九時からコレラの予防法射が行われた。移民船か出ることに神戸からホンコンまで法射のため乗り込む医者は、二人の看護婦を従え A・F の室から順序に九百四十九人の注射をやることになった。船酔だろうか風邪だろうかまいかしにびしひと針をつき刺してゆく。麦原さんの女房はむりに起されると忽ち床の上に嘔吐をしてしまった。注射は午後二時までに完了した。

午後からは忙しくなった。青年会を結成してその発会式を挙げ、夜は婦人会を結成してその発会式をあげた。村松監督がその指揮にあたり、青年会には船中の整備のために種々な役員が指命された。鳳紀衛生部。運動部、芸芸部、連絡部。勝田さんの長男は芸芸部長になり、その妹の婿名義になつている百野君が芸芸部員であった。孫市は鳳紀衛生部員にさせられて桃色の腕章を左腕に巻きつけた。役員かぎまとと芸芸部では監督事務室の臘写版で船中新聞やら、ぶらた時報の印刷にかかりた。これには出発を祝う監督の挨拶と船中生活の注意とが書いてあつた。

婦人会の会長に任命されたのは信州の女工出の松本さんという三十すぎたばかりの女で、子供が一人ある男の後妻になつて渡航するのであつた。会長の下に幹事が十二人指名され、お夏もその中に入れられた。この会が終ると幹事たちは、ちり取りと帯を持って各室の掃除をはじめた。おいおいには種々の講習会をひらいて、今後の生活に必要な知識をあたえることになつてした。先ずパンを造ること、これは船のベーカーに講習をしきもう。それから簡单服のつくり方、これは移民の中に子供服などできる男がいて、ミシンも一台もつてしたから、この人に講習をして冀うことになつてした。

「ちかいうちに整体術の講習をはじめますから、有志の方は是非なうっておいて下さい。ブラジルのような医者の少いところでは、整体術をおぼえておくと应急の役にたつて大変便利です。僕は二年間勉強して免状を持っていますから、誰にでも教えます」

「君、その整体術って何だね」と彼は事務室でからかい半分で聞き方をした。

「整体術ですよ。知らんですか」

「知らない。按摩みたしなもんかね」

「神経系統をもむんですよ。まあいい、とにかくね、君が勝手にいろんな講習をやうないで僕に一応ことわってからにしこくれたまえ」

「ええ、だけどこれは是非とも教えておかないと、入植してからみんな困りますよ」

「困りやせんよ」と言つて監督は笑つた。

一日の仕事が終わり、船内生活の整備がようやくつきかかると、一人の監督はもうくたびれきつこいつた。村松は最後に医務室へ行つて今の衛生状態を聞

いて手帳に書きとめた。

一 トウホーム治療を要する者百二十三名

二 慎養不良児 一名

三 耳下腺炎 二名

四 肾臓炎 一名

五 妊娠中の婦人 一名

六 溼瘍不善児 一名

七 肺炎 一名

八 感染不良児 一名

九 肾臓炎 一名

十 耳下腺炎 一名

十一 肾炎 一名

十二 感染不良児 一名

十三 肺炎 一名

十四 感染不良児 一名

十五 肾炎 一名

十六 感染不良児 一名

十七 肾炎 一名

十八 感染不良児 一名

十九 肾炎 一名

二十 肾炎 一名

二十一 肾炎 一名

二十二 肾炎 一名

二十三 肾炎 一名

二十四 肾炎 一名

二十五 肾炎 一名

二十六 肾炎 一名

二十七 肾炎 一名

二十八 肾炎 一名

二十九 肾炎 一名

三十 肾炎 一名

三十一 肾炎 一名

三十二 肾炎 一名

三十三 肾炎 一名

三十四 肾炎 一名

三十五 肾炎 一名

三十六 肾炎 一名

三十七 肾炎 一名

三十八 肾炎 一名

三十九 肾炎 一名

四十 肾炎 一名

病中御見舞の御礼

私儀去る四月十九日入院致しました。皆様方より御親切なる御見舞を頂戴致し、感謝に耐えません。

「監督さん、ちよつときて下さい」

「何ですか」「ベッドのない者がいます」

「ベッドが無い者は、はてな、ベッドは人数をかき揃えることになつてした。先ずパンを造ること、これ持三の食堂のところを寝こします」

「小水は唇を反らしてあたふたと出て行つてみた。

特三食堂の圓いベンチの上で、毛布にくるまつた

お蔭様ともちろまつて同月二十六日全快退院致しました。

早速御礼の御挨拶申上げるべき忍靜齋

の為め遅延致しました。取りあえずここに遅延のお詫びをかねて御礼と退院

の御挨拶申し上げます。

一九七七年五月二十三日

サウード区御一同様
バスストラ産業組合役員様
バスストラ産業組合役員様
その他御見舞を頂いた方々様
円 谷 金

「君かね、君の室はどこだね」と小水はせつからうに言つた。水年はとぼけたまゝにかすれた声で答えた。

「おまへんのや」取り巻いていた連中はその関西弁をくすぐすと笑つた。

「おまへんはひどいね」と小水が言うと、連中はどつと笑いどよめいた。

「お父さんやお母さんはどの室にいるんだね」すると少年はまぶしげに小水を見あげて興味のないうつろな返事をした。

「わて一人だんね」これには笑つて連中も怪しげに笑つた。

「十歳位の少年では単独航海にしてもひどすぎる。どこから乗つたんだね」

「神戸だもね」

「どこえ行くんだれ」

「アラシルに伯父さんかおまんのや」

「ほほ。誰か君の世話をしこくれる人でもいるの」

「こここの売店の人があんじょうしてくればんね」

そう言われてみると小水はちよつと鼻をあかされた。十歳位の少年では単独航海にしてもひどすぎる。船員をして間ちなしやすく青々とした大きな頭の形が不気味に不具合感じで、煮えきらない顔つきが、彼自身の孤独を一向にかなしむでいるとも見えなかつた。

あんじょうしてくれるという売店がかりのボーイ

訊いてみて事情が判つた。これは密航少年であつた。

昨夜Cのところの空室になつてゐる産室のベッド

に安らかな寝心地たのしんでいふをボーリに

発見されたのである。

大阪に住んでいたが、肉親が死に絶えてしまつたので、ブラジルに伯父さんがいるどうだといふ話を聽りにブラジル行きの船へするりと乗りこんでしまつたのである。ホーイはホンコンから送り返すのだと笑つて説明をしてくれた。

彼の間の抜けたような顔と大阪弁とが小水の頭のなかに何か憂鬱であつた。彼は素かな歩調でまた事務室へ引きかえし、丸窓から首をつき出して海の風を吸つた。

昨夜は左舷のやや船尾よりに昇つた月が、今夜はもうすっかりうしろにまわつてした。舷下にくだける白い波の泡の中で、夜光虫が光りながら流れています。そしてあまり遠くない前を貨物船らしい燈火の少い船がすれ違つて行つた。

西南西、十五ノット半の速力で、船は九州の南端と奄美大島との間をねうつて走つていた。

船は夜のうちに九州の南端を通過した。そして今日は朝から南風が吹いて氣温が高まつた。

金一封也
御夫君松藤喜義様御他界の御香奠返しとして前記の御寄附下さいました厚く御礼申上げます

バス・ト・ス P.I. 教団

松 藤 末 子 様

御禮

萬 谷

去る五月二十日夕方私方メランシヤ栽培用の藁山に不明の出火致ました廻多勢の方々が駆けつけ鎮火に御奮闘下さいましたお蔭様で大事に列らず消火出来ました事はひとえに皆様方の御尽力の賜と深く感謝致し厚く御礼申上げます。

暨晩の出来事にて周章狼狽、御助力下さいました方々の御芳名の記憶も定かでございませんので取敢ず紙上を以つて失礼乍ら御礼申上げます。

一九七七年五月二十四日

力スカッタ区

バス・ト・ス市役所

バス・ト・ス在住各位

様

谷

進

生長の家誌友相愛会バスツス支部

西ヶ迫秀男

生長の家バスツス六月の行事

バスツス日伯文化協会広報部

五月二十三日調

六月五日(日)	午後一時	白鳴会集会
"十一日(日)	正午	誌友会例会
"十九日(日)	午後八時	役員会
"二十日(月)	午後八時	夜の誌友会
五月十五日		会議決定

ダッタ分譲

○スペルメルカード用 20タイトル×34タイトル

○前アミラント・ガスバル・リカルド

○前アルミランテ・バロス街12タイトル×20タイトル

○横アミランテ・ガスバル・リカルド

○前アルミランテ・バロス街12タイトル×20タイトル

○前アルミランテ・ガスバル・リカルド

○前アルミランテ・ガスバル・リカルド

○前アルミランテ・ガスバル・リカルド

RUA ALMIRANTE
10M 12M 12M
QUADRA 97

BARROSO
AV. GASPAR RODRIGO
JARDIM HIKARI

午前九時、朝食が終るとまもなく特参食堂で役員会が開かれた。室長、副室長、青年会役員と婦人会役員、これは用事の有無にかかわらず毎朝集つて事務上のうち合せをする事にきめた。村松監督と小水助手とが必要事項を伝えることになつていた。この朝は入浴と洗濯とについての通知があつた。風呂は週一回沸かす、午前九時から午後五時までを五つに分けて各室別に入浴するようだ。また洗濯は毎朝から午後四時までの間を五つに分けて、船尾の洗濯場ですること。それ以外の時間は清水を出さないから洗濯はできません。監督は衣食住の世話をばかりか、衛生、入浴、洗濯、便所の世話まで焼かなければならなかつた。

以下次号へ

バスツス総合会館六月の使用日程表

1977年4月分バスツスの気温と降雨量 ブラタク製糸会社 測候部							
項目	日	気温 °C	湿度 °C	湿度 %	最高 気温	最低 気温	降雨量 mm.
	1	26.0	22.0	66	30.0	19.0	8.0 N○ 6
	2	24.0	22.0	81	27.0	17.0	E○ 5
	3	24.0	21.0	72	28.0	17.0	E○ 7
	4	22.0	20.0	80	25.0	18.0	0.2 S○ 10
	5	25.0	23.0	81	29.0	19.0	N○ 3
	6	25.0	22.0	73	32.0	16.0	S○
	7	25.0	21.0	65	30.5	16.0	E○
	8	24.8	22.0	81	30.0	16.0	0.8 E○ 8
	9	23.0	22.0	90	31.0	16.0	20.8 W○ 10
	10	17.0	15.0	78	25.0	13.0	21.0 S○ 10
	11	15.0	13.0	76	23.0	10.0	S○ 5
	12	25.0	20.0	58	26.5	12.0	E○ 2
	13	30.0	26.0	68	32.0	17.0	N○
	14	30.0	26.0	68	33.5	18.0	N○
	15	32.0	27.0	62	34.0	17.0	N○ 2
	16	32.0	26.0	56	34.0	17.0	N○
	17	31.0	25.0	56	35.0	17.0	N○
	18	30.0	25.0	61	35.0	16.0	E○ 5
	19	26.0	23.0	73	32.0	19.0	N○ 7
	20	23.0	21.0	80	28.5	19.0	7.1 N○ 8
	21	24.0	21.0	72	25.0	17.0	E○ 5
	22	23.0	20.0	72	28.0	14.0	S○ 2
	23	24.0	20.0	64	29.0	13.0	S○
	24	24.0	20.0	64	28.0	15.0	E○
	25	26.0	22.0	66	30.0	16.0	N○ 3
	26	26.0	22.0	66	30.0	17.0	E○
	27	24.0	22.0	81	31.0	15.0	N○
	28	25.0	21.0	65	30.0	15.5	E○ 2
	29	26.0	21.0	58	30.0	16.0	E○ 3
	30	22.0	19.0	71	29.0	15.0	E○ 5
	合計	753.0	650.0	210.4	89.0.1	482.5	573
	平均	25.1	21.6	70	29.7	16.0	1.9

会員各位

バストス農村シンジカット

会長

西

徹

期日、一九七七年五月三十日(月曜日) 午前十二時(第二回招集)

場所 バストス日伯文化協会総合会館

一、其の他

一、前通常総会決議事項並びに議事録の朗読。

一、当、農村シンジカット会費調整の件。

議題

極て、ブラジル労働省指令の法規に基づいて左記に依り臨時総会を開催

致しますから、万障御縁合せの上御出席下さいます様御通知申上げます

バストス農村シンジカット 臨時総会開催御案内

貴家、益々御清栄の事と拝察致します。

AVISO

Pelo presente, ficam convocados todos os associados quites do SINDICATO RURAL DE BASTOS, a comparecerem a Assembléia Geral Extraordinária, que será realizada na sede da Associação Cultural Nipo-Brasileira de Bastos, situada à rua Osvaldo Cruz, nesta cidade de Bastos, às 12,00 (doze horas) em segunda convocação, no dia 30 de maio de 1977, com o fim de apreciar, discutir e votar a seguinte ordem do dia:

- a) Leitura, discussão e votação da Ata da Assembléia anterior;
- b) Majoração das mensalidades sociais
- c) Outros assunto de interesse da entidade.

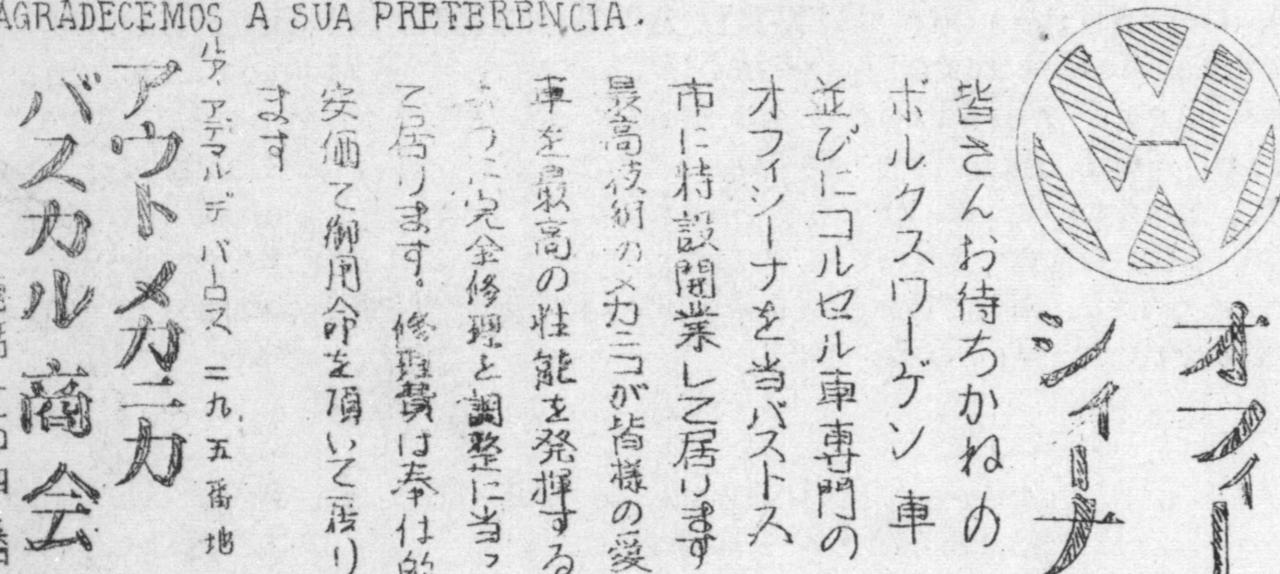
Bastos, 21 de maio de 1977:

aa) Tohoru Nishi - Presidente:

Auto Mecanica BASCAR LTDA.

Rua Adhemar de Barros, 295, Fone: 156 Bastos S.P.

Agora em Bastos há um oficina que você esperava com mecanicos especializados em VOLKS WAGEN e CORCEL, rebifica de motores com assistencia precos modico a Auto mecanica BASCAR LTDA. e todo que você esperava de um Auto mecanica AGRADECemos A SUA PREFERENCIA.



皆さんお待ちかねの
ボルクスワーゲン車
並びにコルセル車専門の
オフィシーナを当バストス
市に特設開業して居ります
最高技術の力が皆様の愛
車を最高の性能を發揮する
お手に完全修理と調整に當
て居ります。修理費は奉は的
安価で御用命を頂いて居り
ます

NOSSA RELOJOARIA

TAKAMI SHIBATA Rua Adhemar de Barros 213 Fone 154 Bastos S.P.

記念品とお祝の贈物は
当店でお選び下さい
カラーテレビジョン
ステレオグラバードール
ポケット用電子計算機
結婚祝のプレゼント
腕巻時計置時計色
おみやげ用品色々
お買物に出たつじにお立寄り下さい
レロージョアリア タカミ

アウトメカニカル商会
電話一五四番

ル・アーマルデバロスニーエ 番地

柴田時計店
電話一五四番

Aviso de Cine Bastos

五月二十七日(金)八時	二十八日(土)九時半	渥美清	監督原作 山田洋治
五月二十九日(日)九時半	三十日(月)八時	倍賞千恵子	三崎子恵子
六月三日(金)八時	四日(土)九時半	前田吟	松村達夫
六月五日(日)九時半	六日(月)八時	監督小沢茂弘	浅岡ルリ子
六月十日(金)八時	十一日(土)九時半	監督中島貞夫	丹波哲郎
六月十二日(日)九時半	十三日(月)八時	監督熊井啓	峰岸隆之助
六月十五日(木)九時半	十六日(金)八時	高倉健 新人 松平純正	笠智衆
六月十八日(日)九時半	十九日(月)八時	仲代達矢	本田みち子
六月二十日(火)九時半	二十一日(水)八時	関根恵子	大瀬英治
六月二十二日(木)九時半	二十三日(金)八時	佐藤利信	若山富三郎
六月二十五日(日)九時半	二十六日(月)八時	三船敏郎	円波哲郎
六月二十七日(火)九時半	二十八日(水)八時	佐藤允	田崎潤
六月二十九日(木)九時半	三十日(金)八時	白川由美	三崎子恵子
六月三十日(土)九時半	七月一日(日)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月二日(月)九時半	七月三日(火)八時	佐藤英子	有島一郎
七月四日(水)九時半	七月五日(木)八時	白川由美	三崎子恵子
七月六日(金)九時半	七月七日(土)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月八日(日)九時半	七月九日(月)八時	佐藤英子	有島一郎
七月十日(火)九時半	七月十一日(水)八時	白川由美	三崎子恵子
七月十二日(木)九時半	七月十三日(金)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月十四日(土)九時半	七月十五日(日)八時	佐藤英子	有島一郎
七月十六日(月)九時半	七月十七日(火)八時	白川由美	三崎子恵子
七月十八日(水)九時半	七月十九日(木)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月二十日(金)九時半	七月二十一日(土)八時	佐藤英子	有島一郎
七月二十二日(日)九時半	七月二十三日(月)八時	白川由美	三崎子恵子
七月二十四日(火)九時半	七月二十五日(水)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月二十六日(木)九時半	七月二十七日(金)八時	佐藤英子	有島一郎
七月二十八日(土)九時半	七月二十九日(日)八時	白川由美	三崎子恵子
七月三十日(月)九時半	七月三十一日(火)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月三十二日(水)九時半	七月三十三日(木)八時	佐藤英子	有島一郎
七月三十四日(金)九時半	七月三十五日(土)八時	白川由美	三崎子恵子
七月三十六日(日)九時半	七月三十七日(月)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月三十八日(火)九時半	七月三十九日(水)八時	佐藤英子	有島一郎
七月四十日(木)九時半	七月四十一日(金)八時	白川由美	三崎子恵子
七月四十二日(土)九時半	七月四十三日(日)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月四十四日(月)九時半	七月四十五日(火)八時	佐藤英子	有島一郎
七月四十六日(水)九時半	七月四十七日(木)八時	白川由美	三崎子恵子
七月四十八日(金)九時半	七月四十九日(土)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月五十日(日)九時半	七月五十一日(月)八時	佐藤英子	有島一郎
七月五十二日(火)九時半	七月五十三日(水)八時	白川由美	三崎子恵子
七月五十四日(木)九時半	七月五十五日(金)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月五十六日(土)九時半	七月五十七日(日)八時	佐藤英子	有島一郎
七月五十八日(月)九時半	七月五十九日(火)八時	白川由美	三崎子恵子
七月六十日(水)九時半	七月六十一日(木)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月六十二日(金)九時半	七月六十三日(土)八時	佐藤英子	有島一郎
七月六十四日(日)九時半	七月六十五日(月)八時	白川由美	三崎子恵子
七月六十六日(火)九時半	七月六十七日(水)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月六十八日(木)九時半	七月六十九日(金)八時	佐藤英子	有島一郎
七月七十日(土)九時半	七月七十一日(日)八時	白川由美	三崎子恵子
七月七十二日(月)九時半	七月七十三日(火)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月七十四日(水)九時半	七月七十五日(木)八時	佐藤英子	有島一郎
七月七十六日(金)九時半	七月七十七日(土)八時	白川由美	三崎子恵子
七月七十八日(日)九時半	七月七十九日(月)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月八十日(火)九時半	七月八十一日(水)八時	佐藤英子	有島一郎
七月八十二日(木)九時半	七月八十三日(金)八時	白川由美	三崎子恵子
七月八十四日(土)九時半	七月八十五日(日)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月八十六日(月)九時半	七月八十七日(火)八時	佐藤英子	有島一郎
七月八十八日(水)九時半	七月八十九日(木)八時	白川由美	三崎子恵子
七月九十日(金)九時半	七月九十一日(土)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月九十二日(日)九時半	七月九十三日(月)八時	佐藤英子	有島一郎
七月九十四日(火)九時半	七月九十五日(水)八時	白川由美	三崎子恵子
七月九十六日(木)九時半	七月九十七日(金)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月九十八日(土)九時半	七月九十九日(日)八時	佐藤英子	有島一郎
七月三十日(月)九時半	七月三十一日(火)八時	白川由美	三崎子恵子
七月三十二日(水)九時半	七月三十三日(木)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月三十四日(金)九時半	七月三十五日(土)八時	佐藤英子	有島一郎
七月三十六日(日)九時半	七月三十七日(月)八時	白川由美	三崎子恵子
七月三十八日(火)九時半	七月三十九日(水)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月四十日(木)九時半	七月四十一日(金)八時	佐藤英子	有島一郎
七月四十二日(土)九時半	七月四十三日(日)八時	白川由美	三崎子恵子
七月四十四日(月)九時半	七月四十五日(火)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月四十六日(水)九時半	七月四十七日(木)八時	佐藤英子	有島一郎
七月四十八日(金)九時半	七月四十九日(土)八時	白川由美	三崎子恵子
七月五十日(日)九時半	七月五十一日(月)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月五十二日(火)九時半	七月五十三日(水)八時	佐藤英子	有島一郎
七月五十四日(木)九時半	七月五十五日(金)八時	白川由美	三崎子恵子
七月五十六日(土)九時半	七月五十七日(日)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月五十八日(月)九時半	七月五十九日(火)八時	佐藤英子	有島一郎
七月六十日(水)九時半	七月六十一日(木)八時	白川由美	三崎子恵子
七月六十二日(金)九時半	七月六十三日(土)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月六十四日(日)九時半	七月六十五日(月)八時	佐藤英子	有島一郎
七月六十六日(火)九時半	七月六十七日(水)八時	白川由美	三崎子恵子
七月六十八日(木)九時半	七月六十九日(金)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月七十日(土)九時半	七月七十一日(日)八時	佐藤英子	有島一郎
七月七十二日(月)九時半	七月七十三日(火)八時	白川由美	三崎子恵子
七月七十四日(水)九時半	七月七十五日(木)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月七十六日(金)九時半	七月七十七日(土)八時	佐藤英子	有島一郎
七月七十八日(日)九時半	七月七十九日(月)八時	白川由美	三崎子恵子
七月八十日(火)九時半	七月八十一日(水)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月八十二日(木)九時半	七月八十三日(金)八時	佐藤英子	有島一郎
七月八十四日(土)九時半	七月八十五日(日)八時	白川由美	三崎子恵子
七月八十六日(月)九時半	七月八十七日(火)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月八十八日(水)九時半	七月八十九日(木)八時	佐藤英子	有島一郎
七月九十日(金)九時半	七月九十一日(土)八時	白川由美	三崎子恵子
七月九十二日(日)九時半	七月九十三日(月)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月九十四日(火)九時半	七月九十五日(水)八時	佐藤英子	有島一郎
七月九十六日(木)九時半	七月九十七日(金)八時	白川由美	三崎子恵子
七月九十八日(土)九時半	七月九十九日(日)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月三十日(月)九時半	七月三十一日(火)八時	佐藤英子	有島一郎
七月三十二日(水)九時半	七月三十三日(木)八時	白川由美	三崎子恵子
七月三十四日(金)九時半	七月三十五日(土)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月三十六日(日)九時半	七月三十七日(月)八時	佐藤英子	有島一郎
七月三十八日(火)九時半	七月三十九日(水)八時	白川由美	三崎子恵子
七月四十日(木)九時半	七月四十一日(金)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月四十二日(土)九時半	七月四十三日(日)八時	佐藤英子	有島一郎
七月四十四日(月)九時半	七月四十五日(火)八時	白川由美	三崎子恵子
七月四十六日(水)九時半	七月四十七日(木)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月四十八日(金)九時半	七月四十九日(土)八時	佐藤英子	有島一郎
七月五十日(日)九時半	七月五十一日(月)八時	白川由美	三崎子恵子
七月五十二日(火)九時半	七月五十三日(水)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月五十四日(木)九時半	七月五十五日(金)八時	佐藤英子	有島一郎
七月五十六日(土)九時半	七月五十七日(日)八時	白川由美	三崎子恵子
七月五十八日(月)九時半	七月五十九日(火)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月六十日(水)九時半	七月六十一日(木)八時	佐藤英子	有島一郎
七月六十二日(金)九時半	七月六十三日(土)八時	白川由美	三崎子恵子
七月六十四日(日)九時半	七月六十五日(月)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月六十六日(火)九時半	七月六十七日(水)八時	佐藤英子	有島一郎
七月六十八日(木)九時半	七月六十九日(金)八時	白川由美	三崎子恵子
七月七十日(土)九時半	七月七十一日(日)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月七十二日(月)九時半	七月七十三日(火)八時	佐藤英子	有島一郎
七月七十四日(水)九時半	七月七十五日(木)八時	白川由美	三崎子恵子
七月七十六日(金)九時半	七月七十七日(土)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月七十八日(日)九時半	七月七十九日(月)八時	佐藤英子	有島一郎
七月八十日(火)九時半	七月八十一日(水)八時	白川由美	三崎子恵子
七月八十二日(木)九時半	七月八十三日(金)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月八十四日(土)九時半	七月八十五日(日)八時	佐藤英子	有島一郎
七月八十六日(月)九時半	七月八十七日(火)八時	白川由美	三崎子恵子
七月八十八日(水)九時半	七月八十九日(木)八時	中丸忠雄	浜美枝
七月九十日(金)九時半	七月九十一日(土)八時	佐藤英子	有島一郎
七月九十二日(日)九時半	七月九十三日(月)八時	白川由美	三崎子恵子
七月九十四日(火)九時半	七月九十五日(水)八時</		